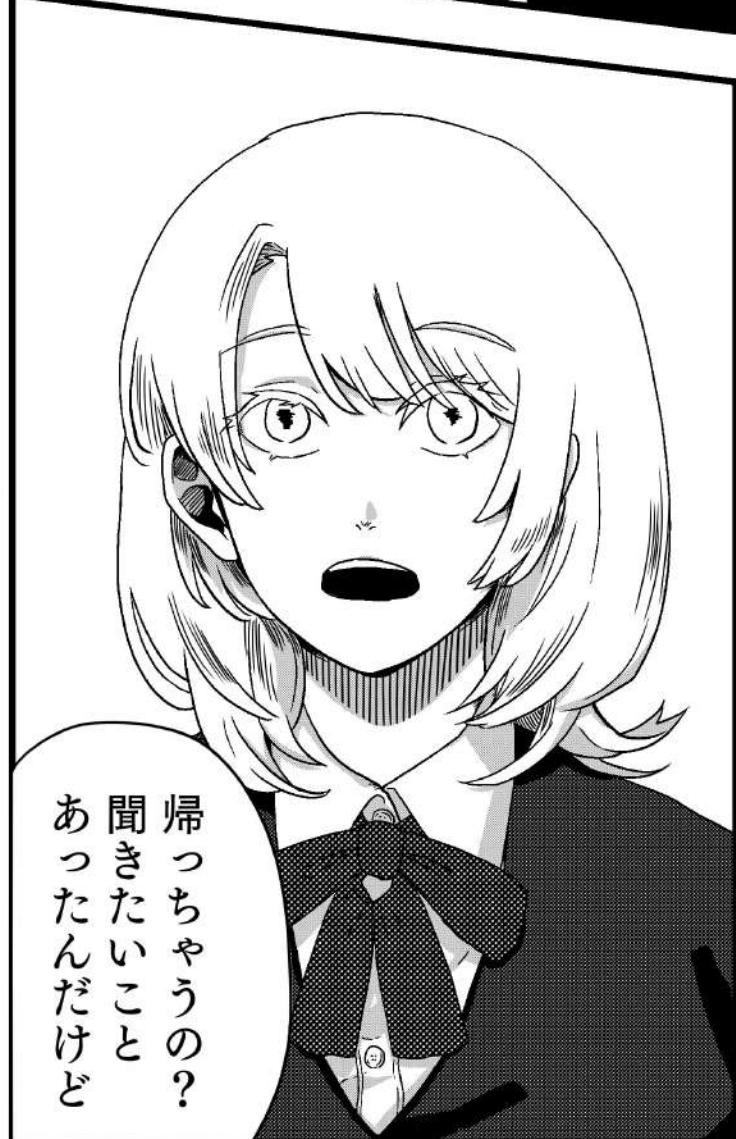
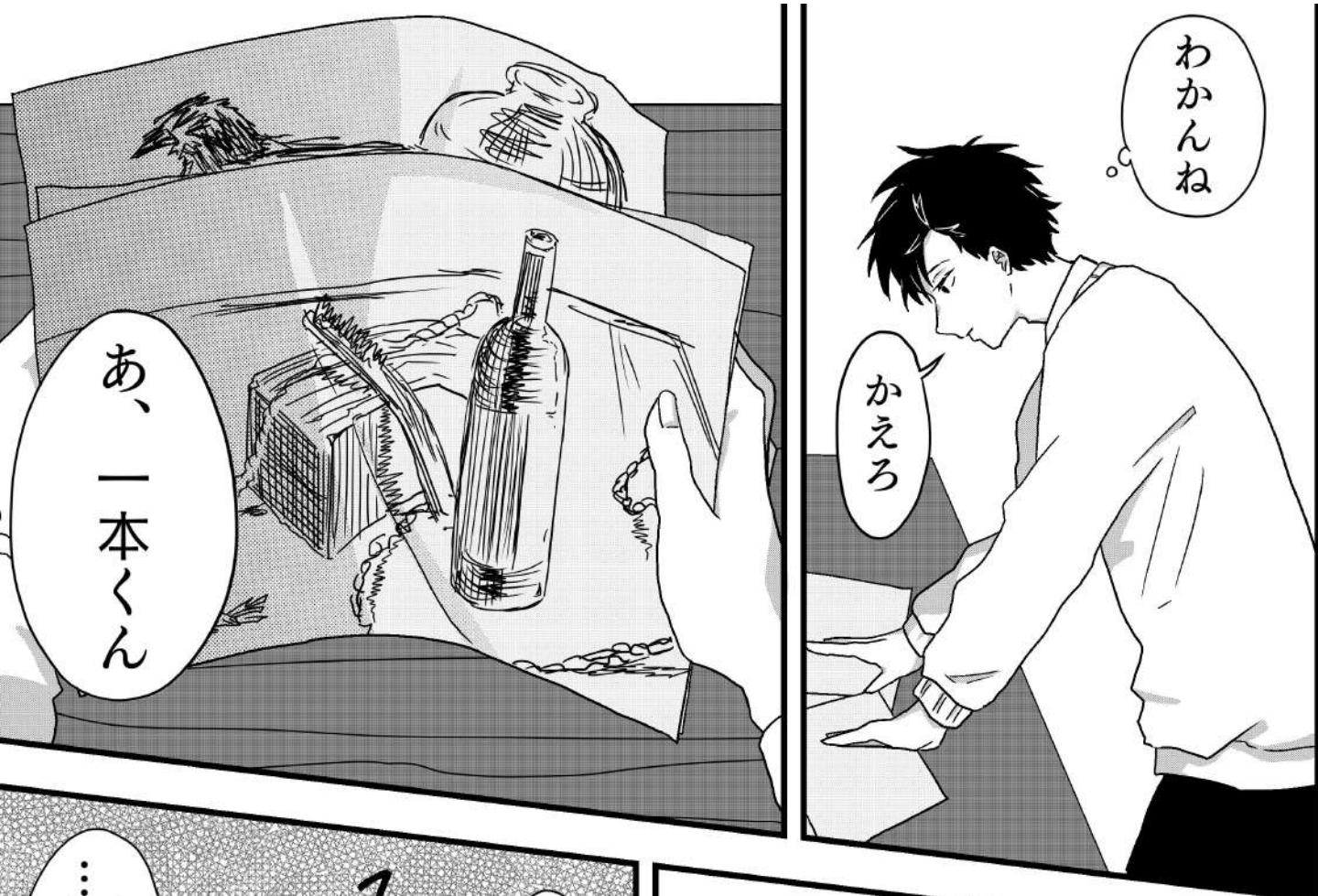


惜しいんだよな  
一本は：  
いちもと

よく描けては  
いるんだがな  
世界観が薄いんだよな

もっと  
自分の世界を  
極めていきなさい





人の顔  
覚えんの苦手で

ごめん

深見心結さん  
作品は全部  
覚えている

インパクトはあるが  
よく分からない  
絵を描いている

正直苦手だ…

あー

デッサン教えて  
ほしかつたんだよね

ああ聞きたい  
事だつけ、ごめん  
俺今から帰る  
ここだから





え、待って待つてなんか余計に分からくなつてきたんだよふざけんな？ 界つて一体何なんだけど：じやあ世界深見さんより俺の方が絵上手いだろうが結構マジで訳が分からんけど：え、たしかに俺もあんな感じでグチャグチャと描けばいいわけ？ じゃあ何故この世にデッサンつて概念があるんだよ俺の今までの努力は今までの泡なのか？



身近な上手い人に  
教えてもらうのが  
一番ためになるし、

一本くん  
めつちやデッサン  
上手だから

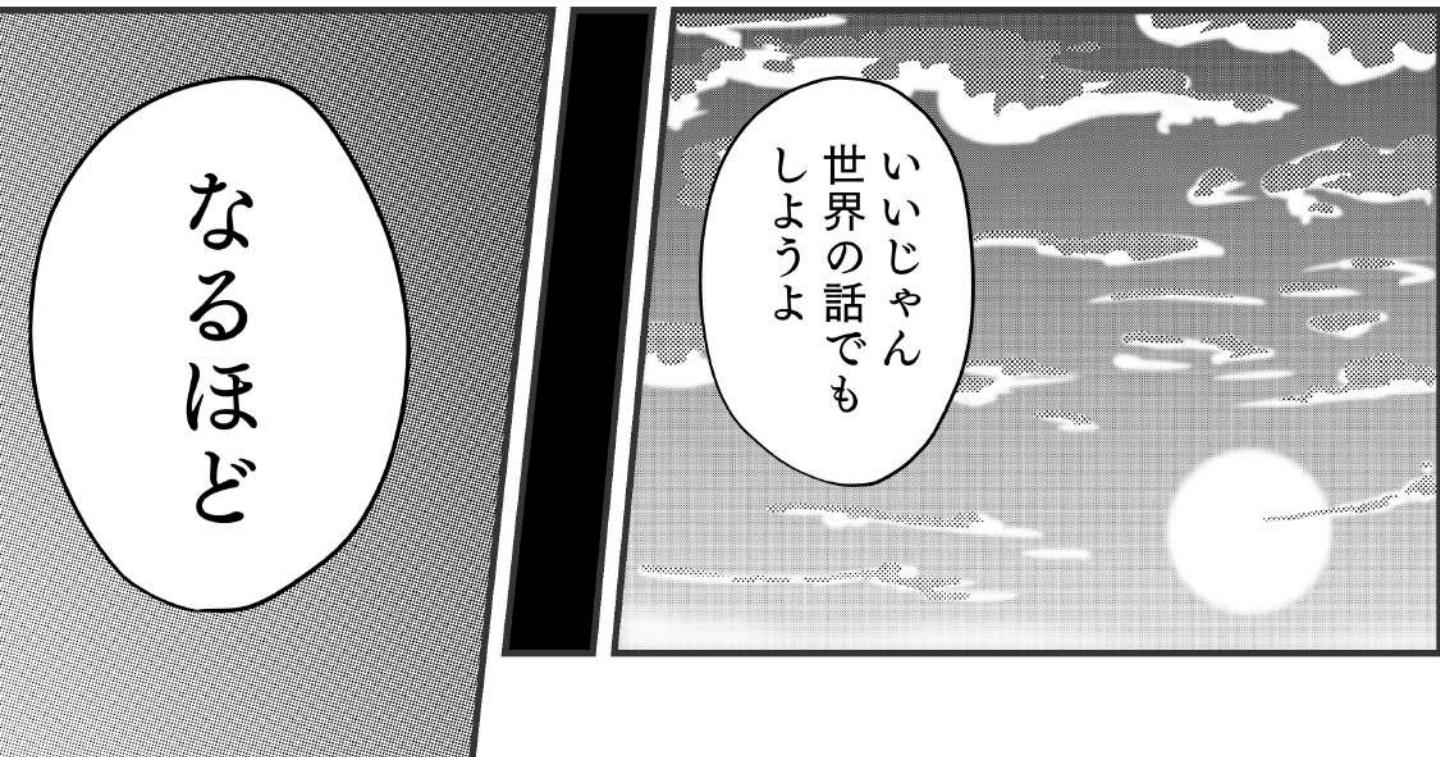
でも人に  
教えを乞うのは  
嫌いだーでも

背に腹は  
代えられん

ていうか俺も  
教えてもらえば  
いいんじやないか？

悪い気はしない





つまり一本くんは

世界観が薄いって  
言われて悩んでるのね

ざつくり言うと

そう……

深見さんの思う  
世界ってどんなの



うーん

スー  
ブワーッとしてて

ギラッ

いや  
語彙力がなくて  
申し訳ない

情報量がゼロで  
分からぬ

つて  
感じ

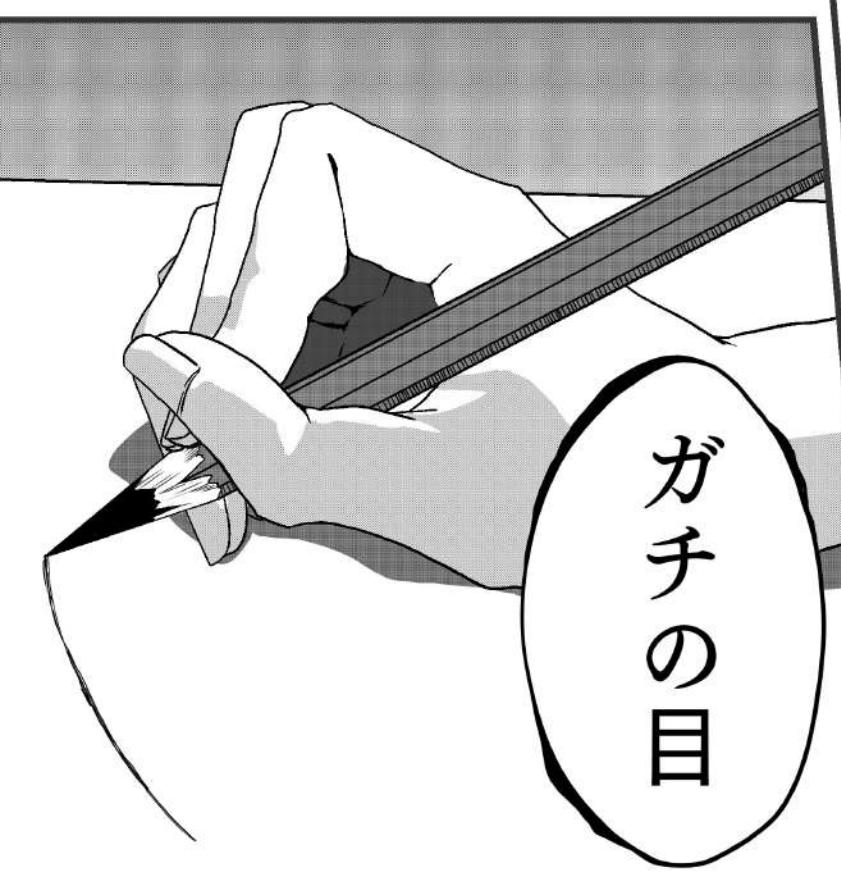
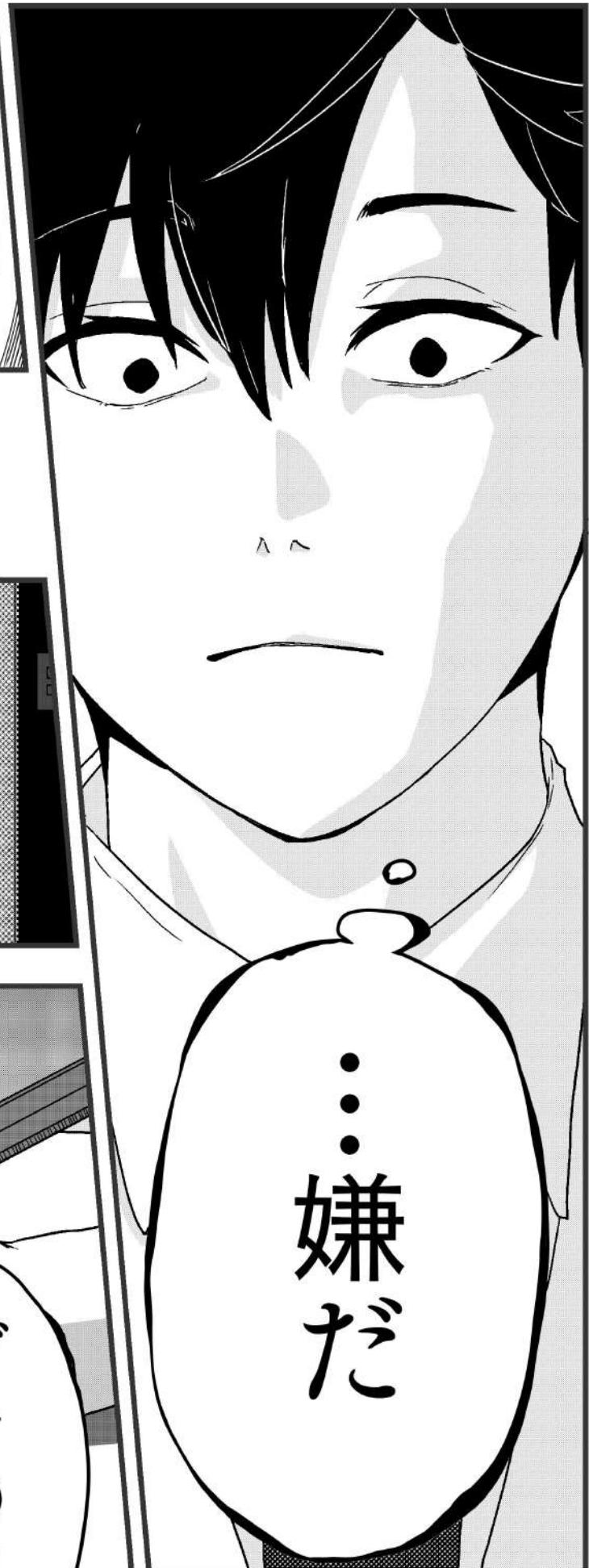
あ、  
そうだ

どう伝えたら  
いいかな





その目

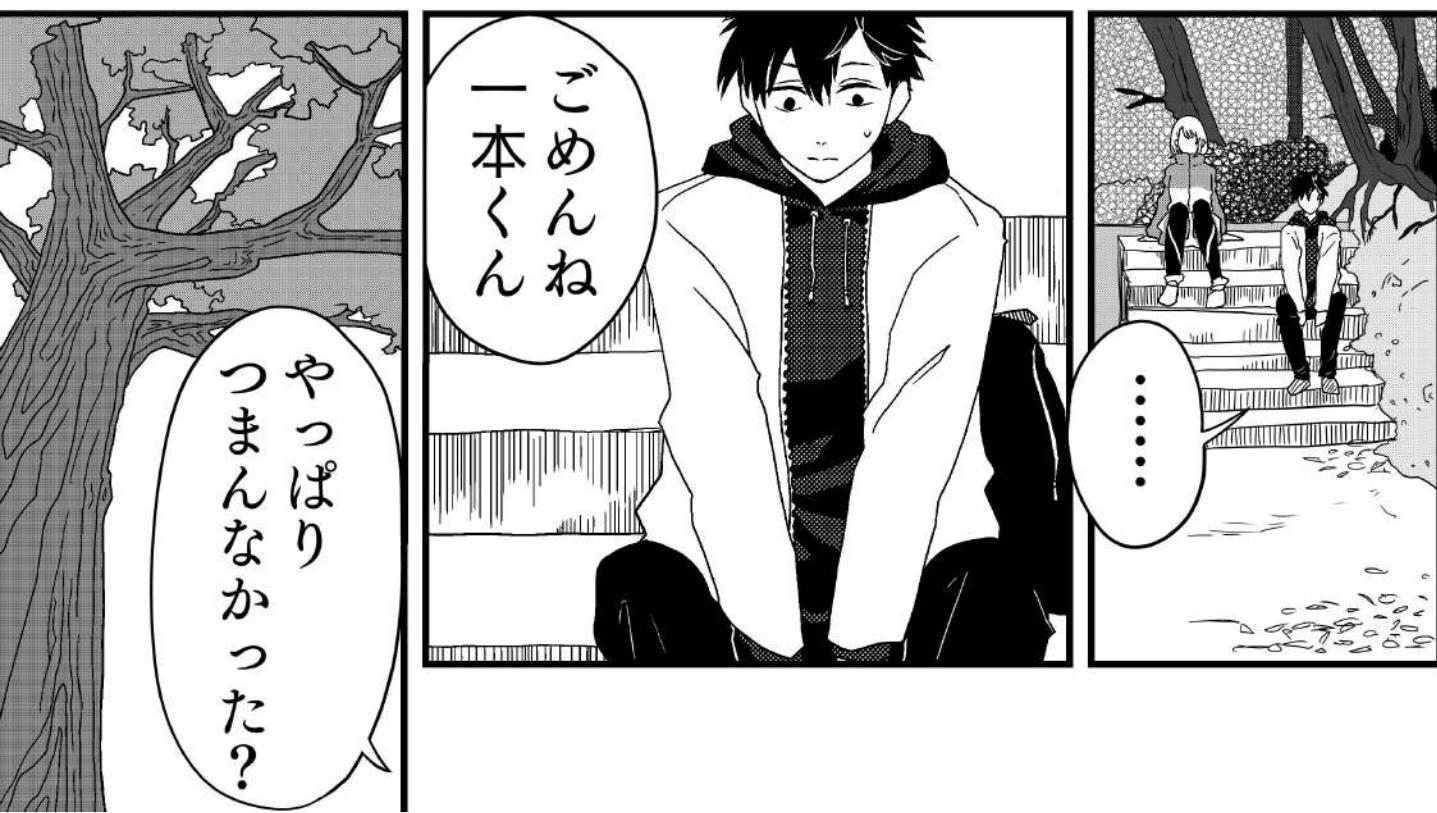


：嫌  
だ

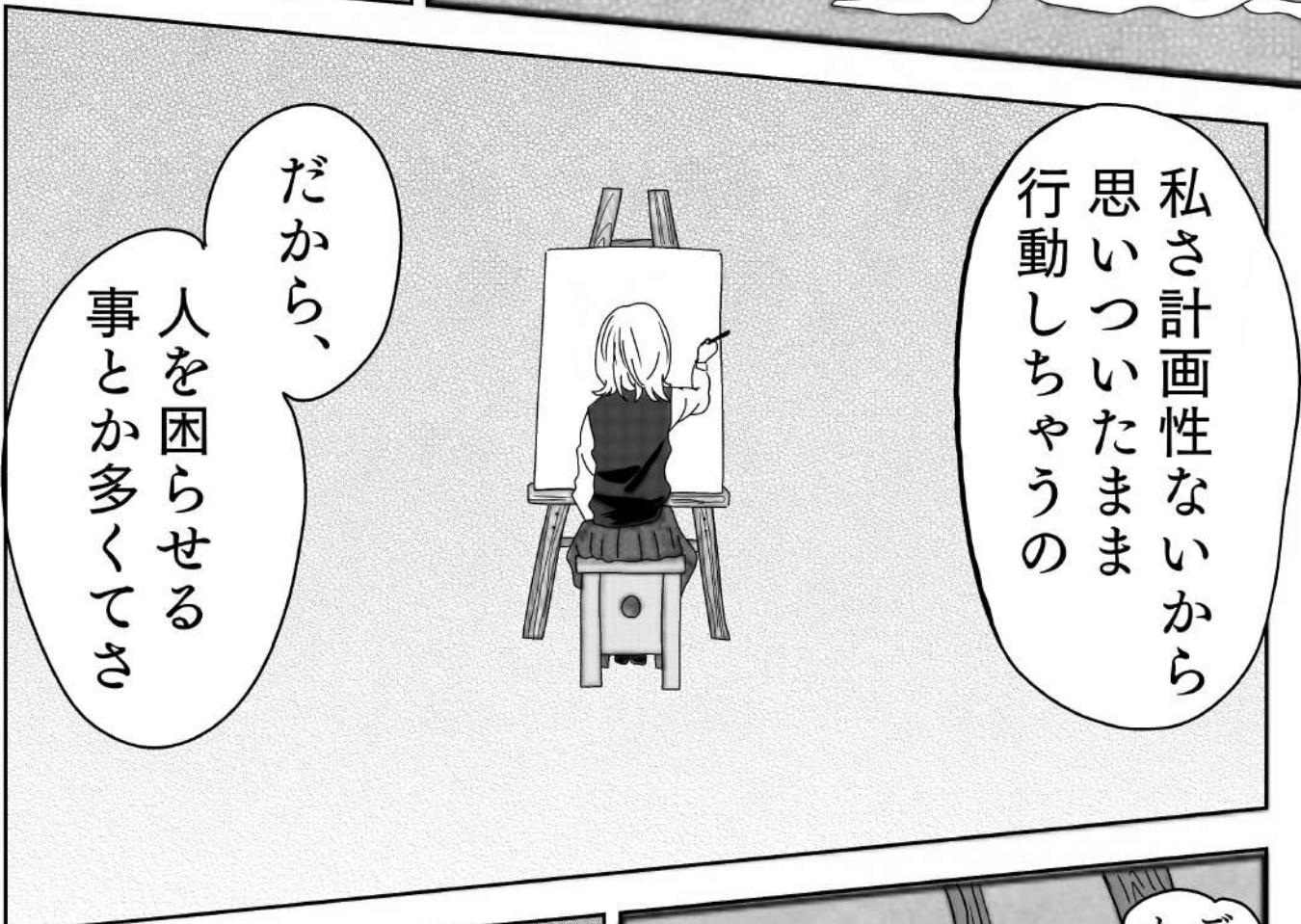
ガチの目

翌日





あついや



私は計画性ないから  
思いついたまま  
行動しちゃうの



俺  
情けないなあ

気まで  
使わせて

やつて  
もう  
ばっかり  
で：

ねえ、一本くん

ああ  
そういうことか  
自分の世界がな

生産性のある  
ことができない

自分から  
何もできない  
受動的で

つまんないって  
思つたかもだけど

得られるものは  
絶対ある  
はずだから



今日は  
いろんな  
ものを見よう



ありがと



いえいえ



あと、  
私が思うに

なるほどー

いろいろもの見て  
好きの範囲  
広げましょ、って感じ



自分の世界って  
自分の好きなもの  
で構成されて  
いると思うの

だから  
自分は何が好きで  
何を美しいと思うか  
それを知るために  
沢山出かける  
ようにしている



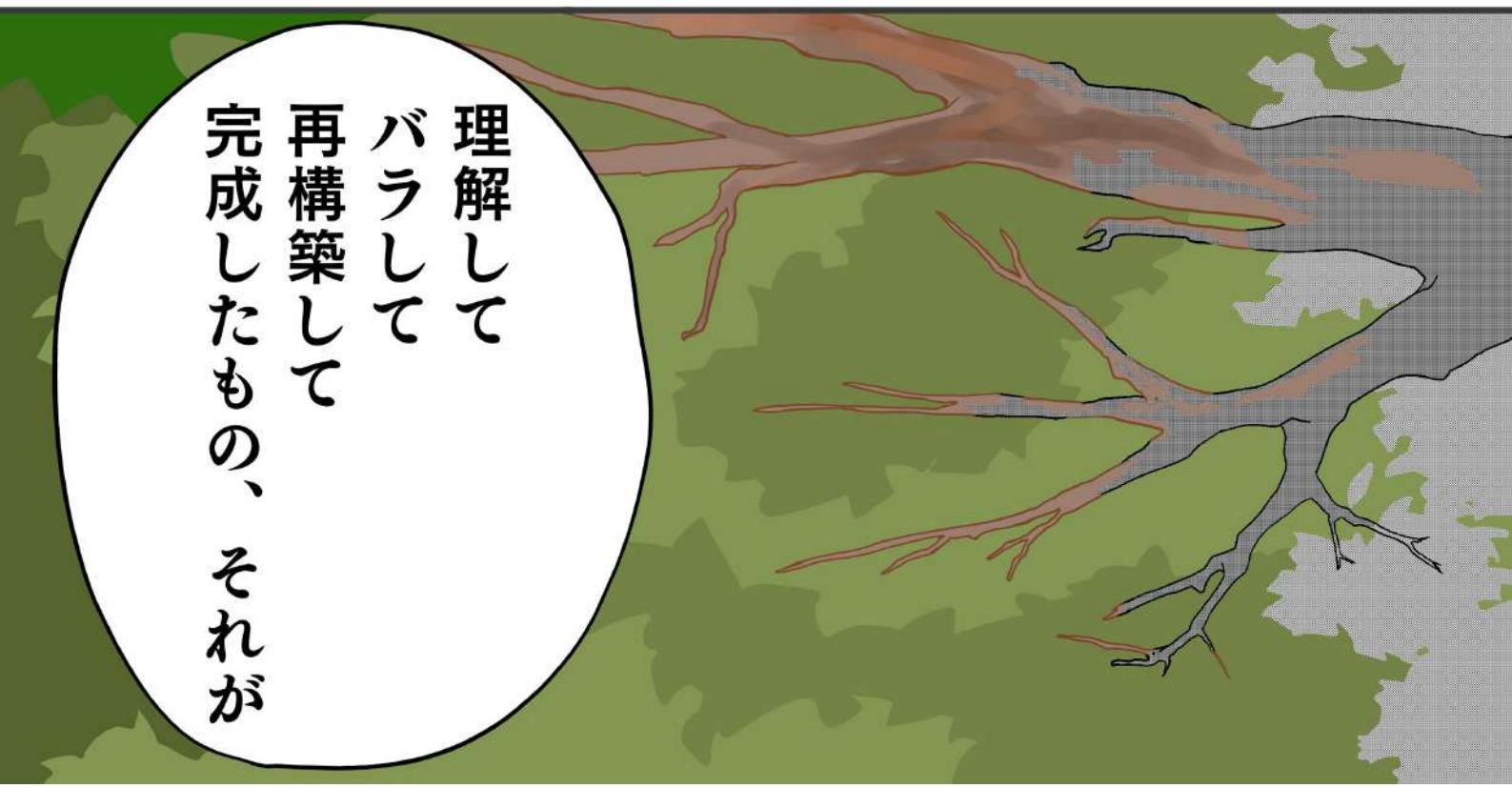
編集した  
自分の中の“好き”  
を――



知れば知るほど  
表現力とか色々  
必要になつてくるし



そうなると  
また絵の勉強を  
しないといけない  
これをずっと繰り返す



理解して  
バラして  
再構築して  
完成したもの、それが



私の世界



見えた

分かんないか

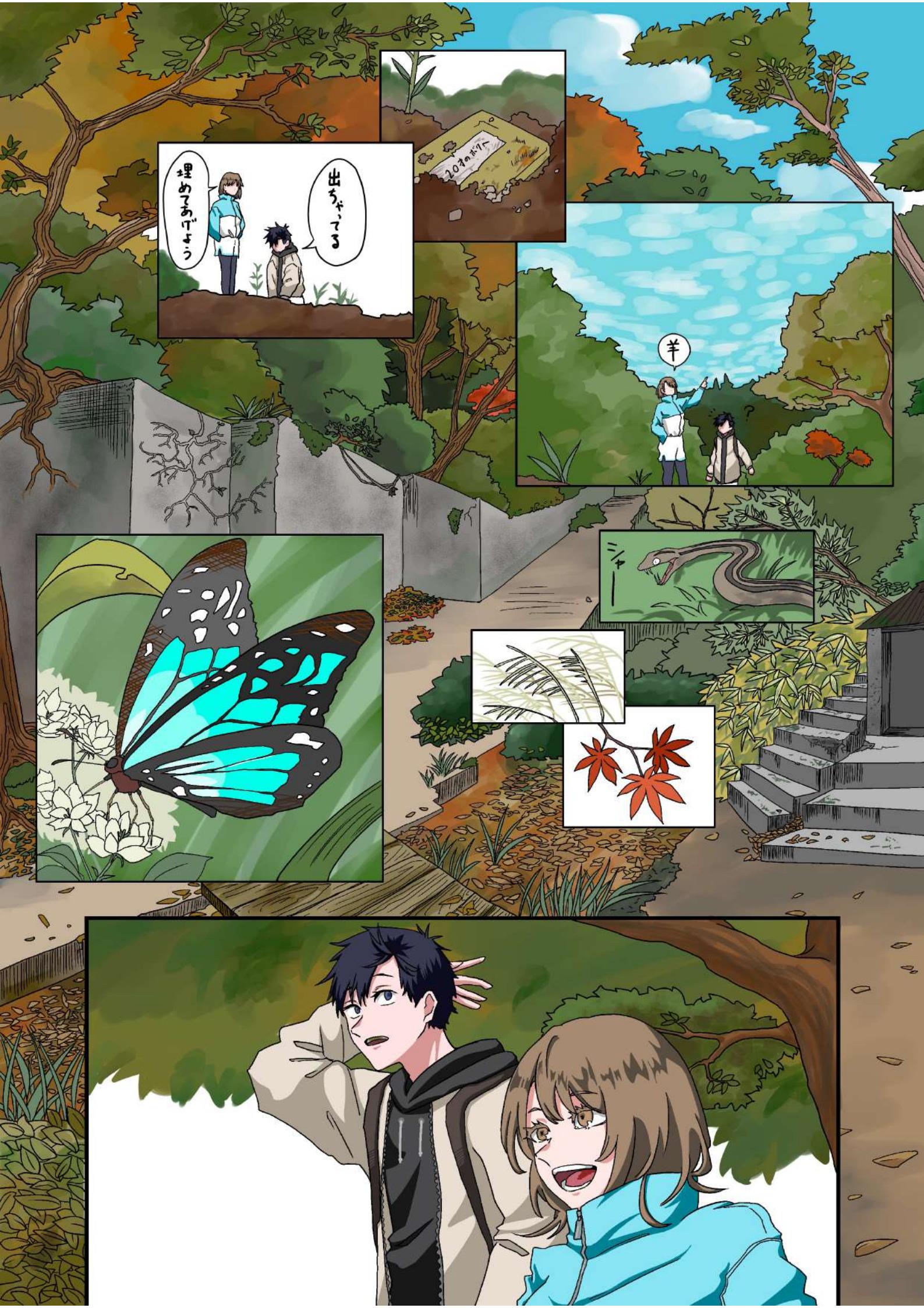
つて

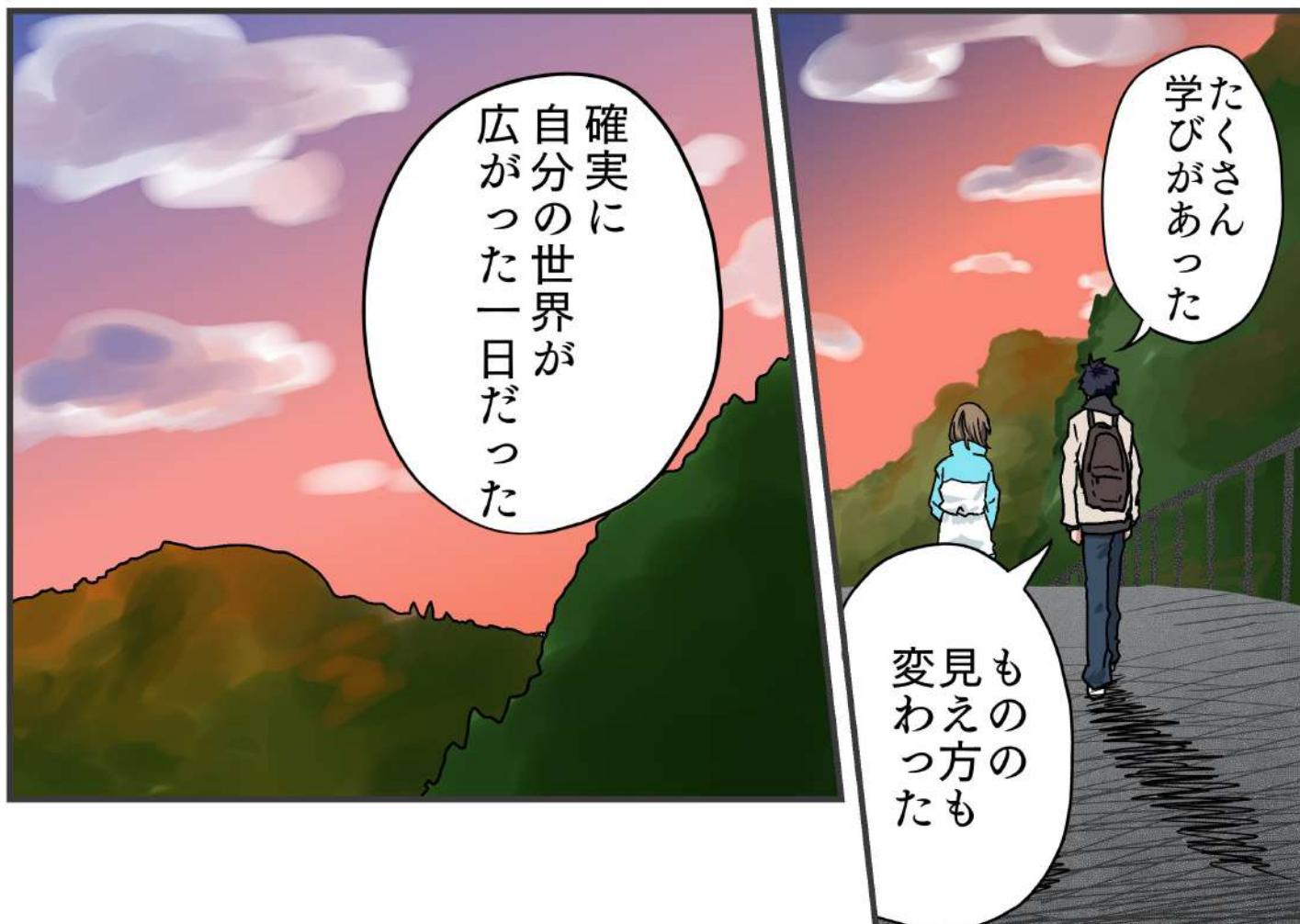
深見さんの世界

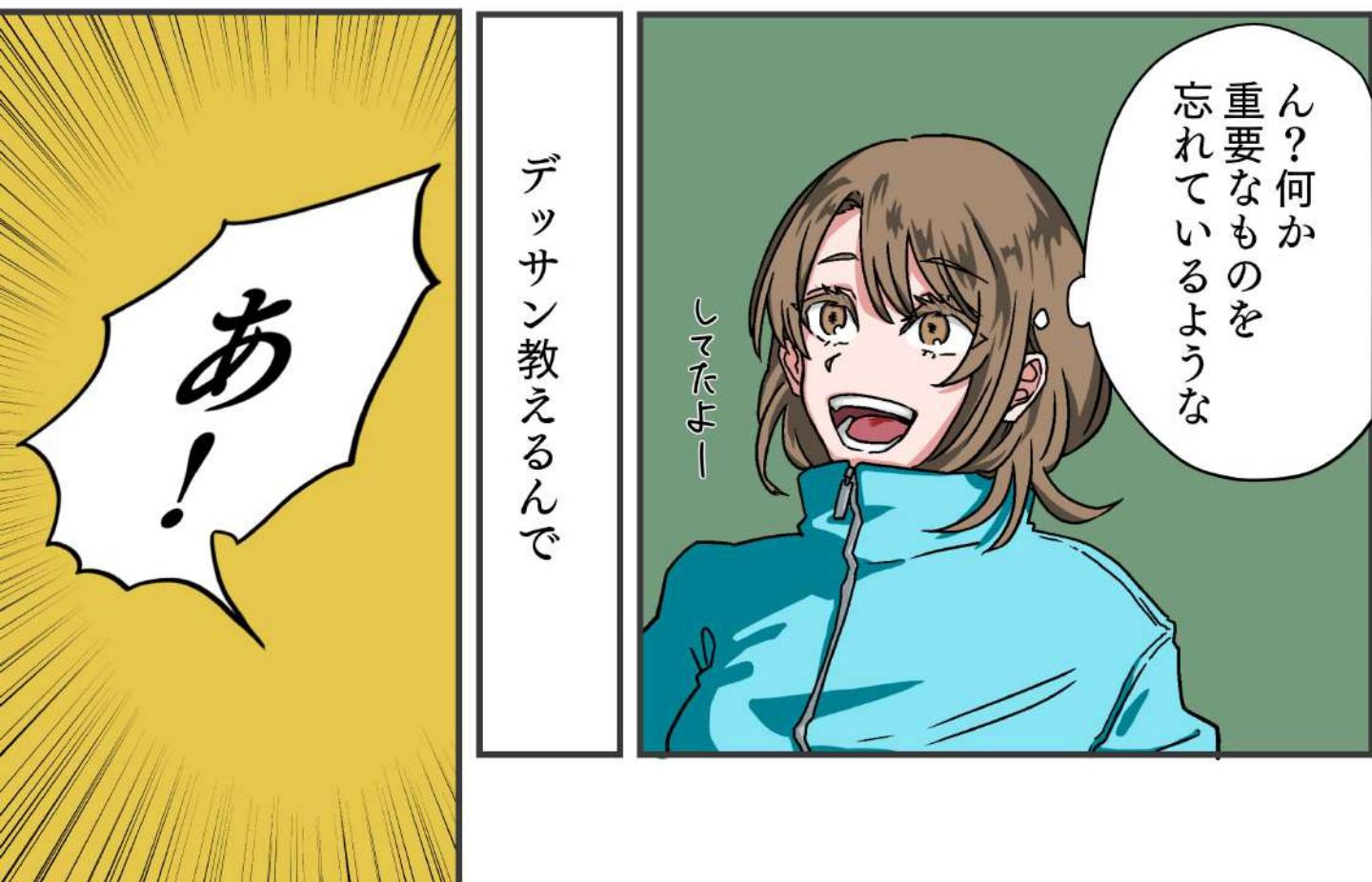
じゃあ  
その調子で

だよ  
！えつすごい  
これは成長









テッサン

絶対に  
教えてよ！

私はもう  
だから  
“世界”教えたん

はい  
どうぞ

